



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月9日

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5952 URL http://www.amatei.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪内 茂行  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石野 栄一 (TEL) 06-6411-1238  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	2,601	1.3	△1	—	△4	—	△17	—
2018年3月期第2四半期	2,569	4.6	85	18.7	81	35.2	66	43.6

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 △23百万円(—%) 2018年3月期第2四半期 89百万円(103.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	△1.45	—
2018年3月期第2四半期	5.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	5,195	1,173	21.9
2018年3月期	5,144	1,220	23.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 1,136百万円 2018年3月期 1,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	2.00	2.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	3.1	65	△38.7	55	△46.6	40	△51.8	3.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	12,317,000株	2018年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	549,004株	2018年3月期	548,954株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	11,768,004株	2018年3月期2Q	11,768,047株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(追加情報)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が見られる等、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、近畿地方を中心に各地で被害をもたらした大型台風や豪雨、大阪・北海道での地震の影響、また米国の保護主義政策による米中の通商政策に基づく貿易摩擦による世界経済の下振れ、北朝鮮・中東等の地政学リスク等により、国内外の経済は不確実性が高まっており、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループの主たる事業である建設・梱包向のうち建設向は、第2四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数は49万1千戸(前年同期間比1.1%減)と全体として住宅着工は弱含みであり、特に利用関係区分で、持家・貸家は低調に推移しました。また、鋼材等の資材価格等が高騰していますが販売価格の値上げは十分でなく、一方で価格競争が更に激しさを増しました。電気・輸送機器向ネジは、OA機器関連等で海外での現地調達、一部国内回帰し、また自動車をはじめ輸送機器関連部品や産業機械向のライセンス製品の需要は、引き続き堅調に推移しています。しかし、建設・梱包向同様、価格競争が激しく、事業環境は厳しい状況が続いています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,601百万円と前年同四半期と比べ32百万円の(1.3%増)増となりました。営業損益は、電気・輸送機器向は、需要の増加もあり増益となりましたが、建設・梱包向は、鋼材等の資材価格の高騰や輸入商品価格・運賃等の値上がりがあり、値上がり分を販売価格に転嫁を図ったものの、十分な転嫁はできず、また生産性の向上による製造コストの低減等を図ったものの固定費を吸収することができなかつたため、1百万円の損失(前年同四半期85百万円の利益)となりました。経常損益は4百万円の損失(前年同四半期81百万円の利益)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益は、台風21号の暴風雨災害による損失を9百万円特別損失として計上し、法人税、住民税及び事業税が1百万円等により17百万円の損失(前年同四半期66百万円の利益)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、釘を多く使用する2×4等の木造住宅の着工戸数は前四半期累計期間と比べ減り、釘の需要は伸びず減少しました。利益面では、鋼材等の資材価格や輸入商品価格・運賃等の高騰により、製造コストや輸入商品の仕入コストが増大したため、販売価格への転嫁を図ったものの、部分的な値上げに留まりました。また、8月・9月の台風による暴風雨や長雨により住宅着工の遅れが発生し、釘の需要は落ち込みました。この結果、当セグメントの売上高は、2,038百万円(前年同四半期2,035百万円、0.1%増)となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ89百万円減の77百万円となりました。

#### (電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、弱電・OA機器向等は海外での現地調達化が定着しましたが、内需ニーズとして、品質重視の傾向のなか、自動車をはじめ輸送機器関連部品や産業機器向の付加価値の高いライセンス製品の需要は順調に推移しました。この結果、当セグメントの売上高は、563百万円(前年同四半期533百万円、5.6%増)となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ6百万円増の25百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ・資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は5,195百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比51百万円増)となりました。流動資産は、前年度末に比べ110百万円増加し3,169百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が58百万円、商品及び製品が65百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ59百万円減少し2,025百万円となりました。これは、有形・無形固定資産の設備投資34百万円に対して、減価償却費が85百万円であり、投資有価証券が第2四半期連結会計期間末の株価が下がったことにより14百万円減少したこと等によるものであります。

## (負債)

負債合計は、前年度末に比べ98百万円増加し4,021百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ118百万円増加し2,749百万円となりました。これは主に短期借入金が69百万円、その他が40百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定負債は、前年度末に比べ20百万円減少しました。これは、長期借入金が前年度末に比べ22百万円減少したこと等によるものであります。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は2,652百万円(前年度末比46百万円増)となりました。これは、短期借入金の純増が54百万円あり、また長期借入金の返済277百万円に対して、長期資金の借入を270百万円実行したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、1,173百万円となり、前年度末に比べ46百万円減少しました。これは、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失が17百万円、配当金の支払いが23百万円であり、その他有価証券評価差額金が、株価の下落により、前年度末に比べ9百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の23.1%から21.9%となり、1株当たり純資産額は100.84円から96.55円となりました。

## ・キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動により19百万円の支出、投資活動により25百万円の支出、財務活動により23百万円の収入となり、資金は前年度末に比べ22百万円減少し、563百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の増加により78百万円、たな卸資産の増加により55百万円減少し、税金等調整前四半期純損失14百万円、減価償却費85百万円等により、営業活動に使用した資金は19百万円となりました。(前第2四半期連結累計期間は60百万円の収入)

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出19百万円及び無形固定資産の取得による支出3百万円であったこと等により、投資活動に使用した資金は25百万円となりました。(前第2四半期連結累計期間は113百万円の支出)

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純増が54百万円であり、長期借入金は、270百万円を借入れ、返済による支出が277百万円であったこと等により、財務活動で得られた資金は23百万円となりました。(前第2四半期連結累計期間は128百万円の収入)

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月10日に発表しました2019年3月期第2四半期(累計)連結業績予想及び2019年3月期通期連結業績予想は、2018年11月1日に修正いたしました。その修正理由は、当第2四半期連結会計期間において、建設・梱包向(個別)は鋼材等の資材価格や輸入商品価格の値上がりに対して、価格価格への転嫁が、期初の計画どおりに進まず、また、2018年9月4日の台風21号の暴風雨による工場建屋等の損壊に対して「災害による損失」の計上を行いましたので、利益面で大きく下振れしたことによるものであります。

また、通期業績予想におきましても、第3四半期連結会計期間以降、売上げ増による利益面での改善は見込めるものの、2018年5月10日に発表した業績予想からは開示基準に抵触する見込みであることから修正いたしました。

また、2019年3月期(第78期)配当予想は、2019年3月期第2四半期(累計)連結業績及び2019年3月期通期連結業績予想を勘案した結果、2018年5月10日に1株当たり1.50円としてましたものを、2018年11月1日に1.00円に修正いたしました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	586,045	563,621
受取手形及び売掛金	1,285,599	1,343,721
電子記録債権	119,309	139,527
商品及び製品	634,812	699,827
仕掛品	200,267	233,260
原材料及び貯蔵品	222,490	180,253
前払費用	12,890	11,666
その他	1,489	1,502
貸倒引当金	△3,651	△3,761
流動資産合計	3,059,253	3,169,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	455,193	437,575
機械装置及び運搬具（純額）	576,762	555,129
土地	733,542	733,542
その他（純額）	33,837	29,576
有形固定資産合計	1,799,336	1,755,825
無形固定資産		
ソフトウェア	70,863	63,106
その他	0	0
無形固定資産合計	70,863	63,106
投資その他の資産		
投資有価証券	110,366	96,154
長期前払費用	2,850	1,905
繰延税金資産	9,835	14,188
その他	103,700	106,464
貸倒引当金	△12,036	△12,006
投資その他の資産合計	214,717	206,706
固定資産合計	2,084,916	2,025,638
資産合計	5,144,170	5,195,258

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	749,561	760,061
電子記録債務	104,854	118,229
短期借入金	1,549,418	1,618,897
未払法人税等	5,955	5,767
未払消費税等	11,399	10,897
未払費用	53,309	52,141
賞与引当金	36,238	32,304
役員賞与引当金	9,180	—
その他	111,340	151,462
流動負債合計	2,631,257	2,749,761
固定負債		
長期借入金	1,056,540	1,033,866
繰延税金負債	6,913	4,657
役員退職慰労引当金	37,085	39,665
退職給付に係る負債	188,311	190,196
資産除去債務	3,498	3,507
固定負債合計	1,292,349	1,271,893
負債合計	3,923,606	4,021,654
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	558,394	517,782
自己株式	△49,061	△49,068
株主資本合計	1,164,731	1,124,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,912	12,048
その他の包括利益累計額合計	21,912	12,048
非支配株主持分	33,919	37,442
純資産合計	1,220,563	1,173,603
負債純資産合計	5,144,170	5,195,258

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	2,569,379	2,601,686
売上原価	2,063,635	2,162,909
売上総利益	505,744	438,776
販売費及び一般管理費	420,013	440,112
営業利益又は営業損失(△)	85,730	△1,335
営業外収益		
受取利息	10	6
受取配当金	894	2,459
保険解約返戻金	2,661	—
その他	4,543	4,173
営業外収益合計	8,109	6,638
営業外費用		
支払利息	9,968	8,526
その他	2,327	1,164
営業外費用合計	12,295	9,690
経常利益又は経常損失(△)	81,544	△4,387
特別損失		
固定資産除却損	2,944	252
災害による損失	—	9,900
特別損失合計	2,944	10,152
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	78,599	△14,539
法人税、住民税及び事業税	9,911	1,366
法人税等調整額	△132	△2,352
法人税等合計	9,778	△986
四半期純利益又は四半期純損失(△)	68,821	△13,553
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,919	3,522
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	66,901	△17,075

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	68,821	△13,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,528	△9,863
その他の包括利益合計	20,528	△9,863
四半期包括利益	89,350	△23,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,430	△26,939
非支配株主に係る四半期包括利益	1,919	3,522

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,035,719	533,660	2,569,379	—	2,569,379
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79	9,314	9,394	△9,394	—
計	2,035,798	542,974	2,578,773	△9,394	2,569,379
セグメント利益	167,697	18,088	185,785	△100,055	85,730

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	185,785
セグメント間取引消去	△62
全社費用(注)	△99,992
四半期連結損益計算書の営業利益	85,730

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,038,370	563,315	2,601,686	—	2,601,686
セグメント間の内部売上高 又は振替高	405	12,281	12,687	△12,687	—
計	2,038,776	575,596	2,614,373	△12,687	2,601,686
セグメント利益又は損失(△)	77,795	25,034	102,830	△104,165	△1,335

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	102,830
セグメント間取引消去	△49
全社費用(注)	△104,115
四半期連結損益計算書の営業損失	△1,335

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績及び仕入実績

当第2四半期連結累計期間における生産高及び仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高及び仕入実績(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,773,629	+7.5
電気・輸送機器向	456,822	△2.6
合計	2,230,451	+5.3

(注) 1 金額は、生産高は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,046,120	+1.3	323,355	△5.3
電気・輸送機器向	578,064	+13.2	138,371	+16.1
合計	2,624,185	+3.7	461,964	0.3

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,038,370	+0.1
電気・輸送機器向	563,315	+5.6
合計	2,601,686	+1.3

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第2四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	592,164	23.0	538,940	20.7

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。